

# 建築人

# 2023.11 No.713

Osaka Association of Architects & Building Engineers Newsletter "Kenchiku-Jin"

#### 表紙の建築 「淡路島さくらの家」 2021年

第15回 建築人賞奨励賞 受賞作品

設計:井上久実設計室 施工:淡路工舎 撮影:冨田英次

自然と共に暮らす静かな住まいであると同時に、風、虫・獣害などの自然の脅威への配慮が求められました。住居、診療室、浴室の高さの異なる3つのボリュームそれぞれがリニアに伸びる"緑側"を介して繋がります。"緑側"は、暮らしの中で各ボリュームをつなぐ"動線"だけではなく、自然を感じる"ルーム"と位置付けました。緑側の外部面に、蚊帳として可動式の網メッシュを張り、虫の防御と通風を両立させ、眺望を確保しています。

#### 2 大阪ここちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「イシダ本社」 設計:竹中工務店 施工:竹中工務店

「桜の宮こども園・桜の宮児童館」 設計:エム・アイ・エー・アーキテクツ

施工:前川建設

「富田林興正寺別院庫裏」

設計: 横関正人+横関万貴子/NEO GEO

施工:清原工務店

#### 7 動静レポート

8 Topics

9 News of Note

10 Information

12 Close-up Osaka

14 記憶の建築

「迎賓館赤坂離宮」1909年竣工 / 1974年改修 迎賓館改修に見る村野藤吾の建築精神 / 松隈洋

#### 建築人 No.713 2023年11月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長: 田鍋 稔

委員長: 松下典央(編集人代表)

編集人: 石上芳弘 梅田武宏 荻窪伸彦 笠井志保 河合哲夫 大松俊祐 橋本頼幸 北條豊和 牧野降義 三谷勝章 武藤優哉 村上栄司

茂籠一之 山本恭史 事務局: 隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和5年11月1日発行

発行人:会長/岡本森廣

発行所:公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F tel. 06-6947-1961

大阪ここちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

今回は、大阪府建築士会の初代会長でもある渡辺

節氏が関わった建物を紹介したい。

この建物は、大阪府の南部に位置する岸和田市内に あり、なかでも城下町の風情が感じられるエリアだ。 かつて大阪と和歌山を結んでいた旧紀州街道沿い に、旧和泉銀行の本店として計画された。

当時、紡績業が盛んであった背景もあり、1933年 (昭和8年)に、自泉会館と同時期に岸和田紡績社長 でもあった寺田財閥の寺田甚吉氏が建てたとされて いる。

設計は渡辺節氏が担い、建設は藤木工務店が請 負った。

2階建ての鉄筋コンクリート造で、門型のファザード デザインを纏い、アーチの頂部には梟を模したメダリ オンが飾られており、現在は国指定の登録有形文化 財に登録されている。

当初は和泉銀行として建てられたが、その後は阪南銀行や大阪銀行など多くの金融機関が入れ替り入店し営まれてきたが、現在はC.L.T.BANKとして複数の地元企業が利用している。

秋のだんじり祭りで、屋上から観覧できるスポットと しても愛されてきた建物が、今後も変わらず街道沿 いの風景を彩って頂きたい。 Gallery イシダ本社 phi: 竹中工務店 施工: 竹中工務店







世界的な計量機器メーカー「はかりのイシダ」の本社建替計画。 創業の地である京都聖護院において、東大路という幹線道路に 面しながら周辺に住宅が建ち並ぶ環境の下、その街並みに溶け 込むヒューマンスケールな本社を計画した。通り沿いに60mの フロンテージを確保し、東山に呼応する伸びやかなコンクリート の水平庇と緑を段丘状に連続させ陰影の深いファサードとした。 そこに旧会長邸より庭園を継承して、その地の歴史を重ね合わせた。 車の往来が多い通りから一歩中に入れば、中には庭園とつながる 静かで豊かな空間が広がっている。京都的で、邸宅のような 「奥ゆかしさ」のある本社を目指した。

所 在 地:京都市左京区

用 途:事務所 竣 工:2023.04

構造規模:S造

地上3階 敷地面積:2,810.95㎡

建築面積:1,883.68㎡ 延床面積:3,994.88㎡

真:古川泰造

# Gallery

# 桜の宮こども園・桜の宮児童館

設計:エム・アイ・エー・アーキテクツ

施工:前川建設







神戸市北区の市営住宅大規模建替開発事業の一つであり、こども園と児童館の併設建替計画である。将来、当該敷地の南北は、高層住宅群に挟まれ、西側は福祉施設、東側は児童公園に面する。新しくこの地域に転入される若年世帯と、既居住の高齢世帯との交流を意識し、地域の核となり、つながりの場になるような建築を目指した。北側にこども園、南側に児童館を配置し、管理上はガラス扉で仕切られるが、用途に応じ、随時行き来出来る一体感のあるプランを構成。子供達がのびのびと主体的に活動出来るようなゆとりある空間構成とし、保育士や保護者達も安心して見守れるような空間づくりをしている。

(鈴木道子)

所 在 地:神戸市北区 用 途:幼保連携型

述・切保連携型認定こども園

竣 工: 2023.03 構造規模: 鉄骨造 地上3階

敷地面積: 1,870.59㎡ 建築面積: 965.74㎡ 延床面積: 1,819.87㎡ 写 真: 小川重雄

# Gallery

# 富田林興正寺別院庫裏

設計: 横関正人+横関万貴子/NEO GEO

施工:清原工務店









大阪で唯一重要伝統的建造物群保存地区に指定されている富田林寺内町にある「富田林興正寺別院」は、永禄初年興正寺第16世証秀上人が荒芝地であった「富田芝」を入手し、寺内町を開いたことに始まる。その後、御坊が建立され、寺内町を形成する中核寺院として現在も地域に深い係わりがある。平成26年には本堂・対面所(書院)・鐘楼・鼓楼・山門・御成門・築地門が国の重要文化財に指定された。今回私たちが設計したのは伝統的建造物の庫裏のリノベーションである。棟札によると明治28年とあり、今から128年前の建物となる。ただし、年代は不明だが改修されており、プリント合板等も使用されている仕上げとなっていた。足元も石場立てであり、構造的な補強も含め改修した。重伝建地区であるため道路側から見える外観はそのまま変更せずに、耐震・断熱・内部デザインした。境内側は住居としてのプライバシーも確保しながら境内に馴染むように計画した。



所 在 地:大阪府富田林市 用 途:寺院(住宅) 竣 工:2023.10 構造規模:木造平屋建 建築面積:80.46㎡

延床面積:75.91㎡ 写 真:絹巻 豊

# 動静レポート

#### 会長動静

9/27	近畿建築士会会長会議・	協議会

9/29 全日本不動産協会コンペ審査会

10/2 大阪都市景観建築賞第1回審査会

10/3 香港貿易発展局協議

近畿建築確認検査協会協議

10/4 摂津市長面談

10/5 ダイワハウス工業(賛助)面談

10/10 大阪府収用委員会

日本建築士会連合会正副会長会議

10/11 香港貿易発展局意見交換会

10/13 門真市長面談、正副会長会議

10/17 消費者関係団体意見交換会

10/18 理事会

10/20 堺市都市建築局長面談

10/23~10/27 全国大会静岡大会

#### 会長・役員による府内 43 市町村訪問

◎ 10/4 摂津市・森山一正市長と面談



濵田顧問、岡本会長、森山市長、横田副会長

◎ 10/13 門真市・宮本一孝市長と面談



石貫副会長、宮本市長、岡本会長、田中理事

◎ 10/20 堺市・澤中都市建築局長と面談



徳岡副会長、澤中都市建築局長、岡本会長、高原元理事

#### 10 月度 理事会報告

日時 10月18日(水) 16:00~18:00

場所 大阪府建築士会会議室

出席 理事 39/47 名 監事 2/2 名

(1) 入退会の承認

(人)	9月	入会	退会等
正会員	2,291	9	8
準 会 員	31	0	0
特準会員	23	0	0
賛助会員	139	1	0
計	2,484	10	8

#### (2) 会計報告

(円)	9月計	累計
収入	12,919,963	85,139,133
支出	8,021,389	58,060,440
差引	△ 5,101,426	27,078,693

上表の当期経常増減明細を承認しました。

- (3) 前期事業及び後期企画等の総括
- <社会貢献部門>
- ・地域団体の活動支援のためのクラウドファンディングは低調のため中断します。
- ・耐震促進事業は既存住宅調査依頼増です が、耐震評価業務は申請件数がない現状 です。
- ・行政受託は泉佐野市と貝塚市からの空家 調査・撤去の依頼が複数件あり、うち工 事までの受注も含めて好調です。
- <建築情報部門>
- ・建築人の広告収入は若干低調です。
- <建築表彰部門>
- ・建築作品賞の各事業収支・活動ともに予 定通り運営できています。
- <研修部門>
- ・CPD 登録料の納付は堅調です。
- ・定期講習は他団体や Web 講習等の影響 を受けて予算比の充足率は低調です。
- ・22 条研修は比較的人気が高い見学企画が好調です。
- ・国際、賛助、シニアでは事業規模は小さいが堅実な企画を実施している。

会長から委員各位のご努力に敬意を表する とともに、今後も魅力あるテーマの企画とシ リーズ企画でも見直しの必要があるものの 精査が必要としました。

- (4) 大阪大会実行委員会の進捗
- ・本会案内書のキャッチコピーである「建築

からソーシャルデザインへ」は建築士の職能範囲を拡大するイメージをもち、市民や社会への関わりをアピールしている観点から、大会テーマとして採択することを承認しました。

- ・静岡大会で大阪大会を周知するための広 報カードデザインが著作権に抵触する指摘 があり、その後新案で制作しました。
- (5) Google カレンダーによる情報共有情報部門からカレンダー形式によるイベント情報や委員会の情報共有のためのシステムを構築することが承認されました。

## 田代加奈理事

#### 国土交通大臣表彰を受賞

10月7日、本会理事の田代加奈氏 (㈱環取締役) が第35回住生活月間における国土交通大臣表彰を受賞されました。

国土交通省は毎年10月を「住生活月間」と 定めて、国民の住意識の向上と豊かな住生 活の実現に向けた啓発活動を行っています。 氏は自然素材を採用することで都会の居住 空間に「ほっとできる場づくり」を心掛けた 設計活動を行い、本会活動では高齢者等の 住環境・住まい方の向上改善や女性建築士 活動に関する功績を評価されたものです。

#### 消費者関係団体との意見交換会

10月17日、全国消費生活相談員協会関西 支部、日本消費生活アドバイザー・コンサル タント相談員協会西日本支部、関西消費者 連合会、大阪府地域婦人団体協議会の各 役員を招き、本会からは岡本会長他関係役 員による意見交換会を行いました。

本会の市民のための建築相談業務の傾向を 紹介し、消費者団体からリフォームや住宅バ リアフリー等に係る具体的な相談内容につ いて意見交換を行いました。



消費者団体と本会の役員による意見交換

# **Topics**

#### 地域歴史文化探訪 ~太子町「梅鉢御陵」を訪ねて~

日時: 令和5年10月7日(土) 13:00~17:00

場所: 叡福寺・西方院・用明天皇陵・筒井家・旧山本家・推古天皇陵・敏達天皇陵ほか

参加者:21名

私達建築士にとって各々の地域の歴史文化 を学ぶことはとても有意義だと考えます。

とりわけ南河内には古墳時代のレガシーが 色濃く残っています。

竹内街道の沿道にある太子町には、二上山麓の谷あいに約30基からなる磯長谷(しながだに)古墳群があり、皇族の陵墓が集中していることから、周辺は「王陵の谷」とも呼ばれています。

その中の天皇陵4基と聖徳太子廟の5つの古墳は、梅の花びらになぞらえて梅鉢御陵(うめばちごりょう)と称されます。

今回は、この御陵と竹内街道沿に佇む大道 旧山本家 (国登録有形文化財、2004年改修 (設計: 石井智子氏・美建設計)を始め、18世 紀後期に建てられた大和棟の古民家2軒(筒 井家、旧田中家)を訪ねました。

当日は、21人(内会員外5人)が参加し、太子町観光ボランティア「太子街人の会」の案内

人3人が、熱意を持って各陵墓について解説してくれました。ざっくり言うと、聖徳太子と妻と母が眠る太子御廟、太子の祖父(敏達天皇)、父(用明天皇)、叔母(推古天皇)の陵墓と、3人の乳母を祀る西方院を訪ね、各々の陵墓の形や成り立ちを学ぶことが出来ました。西方院では住職自ら解説して、普段は立ち入ることができない内陣(天国)まで案内して頂き、とてもラッキーでした。

また、私たちが建築士の集まりだということから、もう1人太子街人の方が自宅の古民家(筒井家)を公開され、家屋の構造や周辺の古民家がどんどん減っている状況を説明してくれました。さらに、近年保存活用の検討がなされてきた古民家(旧田中家)の見学も追加され、私達建築士に何か支援を期待されているのでは?と感じつつ、とても充実したツアーとなりました。

当日は、旧山本家で音楽会が催されていて、



#### 濱田大洋(建築士の会南河内)

座敷の中や離れは見学できませんでした。 また、時間配分のため孝徳天皇陵への訪問 はパスされました。そこで、次の週末に個人 的に旧山本家と孝徳天皇陵を訪問しました。



旧山本家(離れから中庭を通して見る母屋)



孝徳天皇陵 (645年大化の改新により即位)

#### 建築相談室から(77) 面接相談から

本会相談では、電話での相談に加えて、有料の面接相談(平日午後4時~5時・1時間以内:5,500円(税込))と現地相談(1回半日3時間以内:35,000円(税込))があります。いずれも完全予約制で、電話相談の時間で受け付けています。今回は面接相談の記録からいくつかご紹介します。

#### コンクリートブロック塀1

通学路に面している相談者の自宅。コンクリートブロック塀にひび割れがあるとのこと。ブロック塀は近々解体する予定にしているが、それまでの応急処置として簡易な補修方法を相談したいと来会。相談担当者は、どうしたらいいか正確なことは現場を見ないとわからないが、道路側に倒れないように仮設的に補強をする、下の三段程度を残して上のブロックを撤去する、などが考えられるとアドバイス。同時に現地相談の提案もしています。

#### コンクリートブロック塀2

門柱の笠木ブロックが落下した。ブロックに 問題はないのか、という相談で来会。あらか じめ電話で受け付けた際にできる限り写真 や資料を持ってきてほしいと伝えていたた め、写真をみながら相談を行っています。相 談担当者は、施工写真を見ながらブロック が土留めに使われていることが判明したた め、将来的に鉄筋が錆びて土がブロックを 押し出して崩壊する危険性があることをアド バイス。早めにブロックを施工した施工業 者に相談することをすすめています。

#### 工事費が高い

あるハウスメーカーに依頼した自宅工事が 竣工直前。別のメーカーで契約直前までいっ たものの契約に至らず、見積金額は高かっ たものの今のハウスメーカーと契約した。今 になって、契約できなかった方のハウスメー カーに比べて、基礎杭が高額だったことや

#### 橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

ガレージの深基礎の施工に疑問が生じた。 建具をガラスからアクリルに変更して逆に高 額になってしまったのも不信だ、という内容 で相談者が来会。相談担当者は、金額で争 うのは得策ではなく、現段階で業者を変え るのはもっと問題。多少の値引き交渉をす る程度ではと。図面や書類は一式保管して おくこともあわせてアドバイスしています。

#### 相続した土地が売却できない?

親から相続をした土地を売ろうとしたところ、相談した不動産業者から再建築不可で売却は難しいと言われた。市や府に相談したところ建築士会を紹介されて来会。相談担当者は図面などを見ながら相談し、最近隣接2件が建て替えていることからいわゆる43条2項2号の可能性があるのではないかと判断して、最近立て替えている建物の建築計画概要書などを取得して内容を確認してはどうか、とアドバイスをしています。

# News of Note

# 石切回廊と石切参道商店街

## -点・線・面へとつながる産学連携のまちづくり-

地域分科会である「建築士の会 東大阪」では2023年9月30日に、建築士会活動報告と地域の新しい施設見学を行いました。

石切ひろばづくりとして、生駒山麓に張りつく高低差ある石切参道商店街沿いに「まちのひろば」を立体的に点在させ、既存の広場と関係づけることにより、まちに活気をもたらす取り組みをされている、建築士の仙入 洋氏をはじめ、庭作家の北谷知之氏、近畿大学大学院生の中川諒祐氏、コミュニティーデザイナーの浅井駿平氏のご協力のもと行わせて頂きました。

#### ■企画趣旨

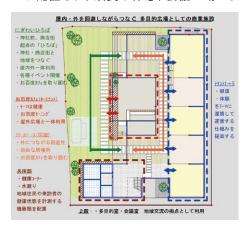
東大阪市東部の生駒山麓、石切劔箭神社の鳥居前に昨年7月に、地域活動の拠点+商業施設として石切回廊が竣工しました。近畿大学と地元の建築士・庭作家・デザイナーらが4年以上に渡り、協働で企画・設計から運営にまで携わっており、参道商店街を含めた地域活性化の拠点となっています。今回は、企画・設計・運営サポートの案内の元、「石切回廊」とそれに続いてサテライトキャンパスとしても活用中の「ひらくきち」を中心に、石切参道商店街全体を散策しました。



大阪府建築士事務所協会賞2022 大阪府知事賞受賞作品

#### ■石切回廊

参拝者や地元の人が気軽に休憩したり集まれる場にしたいという施主の想いを受け、地域活性化の拠点として計画された施設。 2階建てですが、店舗部分は平屋で、カフェを中心に、周囲に飲食店・物販店が5店舗 並びます。建物内部に2箇所のフリースペースが配置され、飲食や休憩、会話の場とし



屋内・外を回遊しながらつなぐ

て使われています。回廊によって、建物内外がつながれて、建物西側には植栽豊かな庭や芝生の広場が配置されています。2階は大小の集会スペースが用意され、様々なイベントや会合に使われます。



高低差のある室内空間

#### ■ひらくきち

石切参道商店街の坂の中腹、店舗の連なりが途切れつつあるところに地域交流拠点「ひらくきち」は位置しています。



商店街とのワークショップ

#### 地域まちづくり委員会 委員 杉山和寿

元々は精肉店や占いの店として使われていましたが、5年ほど空き家の状態が続いていました。近畿大学チームは、オーナーから活用提案の依頼を受け、検討の結果、石切地区のまちづくりに関わる近畿大学の大学テライト研究室として活用する案を提案し受け入れられました。その後、大学院生が重となり設計やりノベーションのためのDIY、地域交流拠点としての活用に携わり、これまでこのまちに訪れることのなかった人々が多く訪れる新たな拠点となっています。



地域のコミュニティスペース

#### ■旧診察所

新しいプレイヤーの参画拠点として構想中。若年層の流出(大学は多いが卒業後に残る若者が少ない)に歯止めを掛けるべく、若者やクリエイターの起業支援、定住促進を目指すコワーキングスペースを設置することを想定。空き家活用、良好な景観形成に寄与すべく、蔵のある古民家を再生利用する。



石切参道商店街の最も高い場所に位置する

# Information

#### 建築士会からのお知らせ

令和5年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 11/22、1/26、2/14、3/8 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。日程 11/22(水)、1/26(金)、2/14(水)、3/8(金)

時間 8:55~17:00 会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切) 受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

#### 既存木造住宅の耐震診断・改修 講習会(一般診断法)

12/8 CPD5単位

本講習会は、既存木造住宅の耐震診断・改修を適切に行うことができる技術者の養成を目的としています(国土交通大臣登録講習ではありません)。講習会の修了者名簿は大阪府及び府内全市町村・関係団体等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等からの問合せに活用します。

日時 12/8(金) 10:00~15:50 会場 大阪府建築士会 東会議室 定員 30名(定員に達し次第締切) 受講料 会員5,000円 一般9,000円 テキスト代 7,300円[2012年改訂版 木造 住宅の耐震診断と補強方法]

#### 令和5年度 地域文化遺産のガイド 人材育成講座(全3日間)

12/10、1/28、2/25 CPD全14単位(予定)

本講座は、文化庁の補助を受け地域の町並みや文化遺産を案内するガイド人材の育成を目的とします。大阪の歴史や地域的特性についての理解を深めながら、ガイドとして必要な知識・スキルを身につけます。あなたもガイド活動を通じて、大阪の文化遺産の魅力を伝えていきませんか。

日程 12/10(日)、1/28(日)、2/25(日) 時間 13:00~17:00(1/28は10:00~17:00) 講師・会場他

詳細は大阪府建築士会HP参照 定員 20名(申込先着順)

受講料 本会会員およびヘリテージマネージャー3,000円(全3回)、一般4,000円 申込み 11/6(月)10:00より受付開始予定。 本会HPからお申込みください 既存住宅状況調査技術者講習 新規講習1/18 更新講習12/13、3/13 CPD新規5単位、更新各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められる業務です。 ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2020年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

#### ▼新規講習(DVD)

日時 1/18 (木) 9:30~17:00 会場 大阪府建築士会 東会議室 定員 30名(定員に達し次第締切) 受講料 WEB申込21,450円 郵送申込22,000円

#### ▼更新講習(DVD)

日時 12/13 (水)、3/13 (水) 13:30~16:50

会場 大阪府建築士会 東会議室 定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込17,000円 郵送申込17,600円

▼申込 日本建築士会連合会ホームページ よりお申込みください。上記以外に オンライン講習も開催いたします。

## 令和5年度建築士定期講習

12/22、1/30、2/6、3/29 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和2年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

#### ▼対面講義

日程·会場·定員

※2/6(火) 大阪YMCA会館 200名▼DVD講義

日程·会場·定員

※12/22(金) 大阪府建築健保会館 90名 1/30(火) 大阪府建築健保会館 90名 3/29(金) 大阪府建築健保会館 90名 時間 9:15~17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前振込) 申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センター HPからダウンロードしてください。(令和 2年度受講者には、同センターから直接申 込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大 阪府建築士事務所協会事務局へ持参して いただくか、簡易書留にて郵送してください。 受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局 ※印以外の日程 大阪府建築士事務所協 会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申 込みも可能です。

https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/ 注) 各回定員に達し次第、受付を終了します。

#### 令和5年度 大阪府ヘリテージマ ネージャースキルアップ講習 (全6日間)

2/10、2/24 CPD各4単位(一部単位なし)

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。動画講習も含めて全6日間の講座で保存活用、調査や修復技術などを学びます。大阪府ヘリテージマネージャーで、昨年受講分も含めてすべての講習を受講された方には修了証書を授与予定です。詳細・申込は本会ホームページをご覧ください。

日時 第5回 2/10(土) 第6回 2/24(土) いずれも13:00~17:00(予定) 講師・会場は調整中

定員 各回40名(申込先着順) 受講料 各回ごとに参加費が変わります。

#### IT活用連続セミナー

11/2、11/10 CPD各2単位(予定)

建築設計事務所のDX (デジタルトランス フォーメーション) 運営について、クライアント との連携、プレゼンテーション (PowerPoint、 動画等) など、これからの建築業界に必要な IT知識向上のためのセミナーを行います。

日時 活用編:11/2(木) 14:00~15:40 発展編:11/10(金) 15:00~16:40

会場 大阪府建築士会 東会議室 +WEB併用

定員 各回 会場30名+WEB参加50名 (申込先着順)

受講料 建築士会会員: 各2,000円 後援団体会員: 各2,500円 一般: 各3,000円

#### エレベーター構造見学会及び無人 搬送機との連携

11/16 CPD1単位(予定)

知っているようで知らないエレベーターの構造をスケルトン昇降機と自動搬送ロボットと の連携の様子を実機にて説明させていただきます。

日時 11/16(木) 14:30~16:30 会場 クマリフト(株)

R&D センター及びテクニカルセンター 定員 24名(申込先着順)

受講料 会員500円 一般1,000円

#### 近畿建築士会協議会女性部会

くらしとすまいをみつめる継続セミナー 『古民家にみる先人の知恵と工夫 による快適で豊かに暮らす仕組み を学ぶ』

11/18 CPD3単位(予定)

野外博物館として全国の民家12棟を移築復元した日本民家集落博物館を会場とし、古民家研究者である中川等氏に解説いただき、伝統的なくらしと住まいの魅力をこれから

の住まいにどのように活かしていくのか、また資源と共存する持続可能な社会の実現について学びます。

日時 11/18(土) 10:00~14:30(昼休90分)

会場 日本民家集落博物館

(大阪府豊中市服部緑地公園内) 講師 NPO法人古材文化の会副会長

長南大学非常勤講師 中川 等氏 参加費 会員500円 一般600円

学生無料 定員 50名(申込先着順)

申込 大阪府建築士会内 近畿女性部会 男女を問わず参加可能です。

#### 介護・女性・ジェンダー トイレのお悩み解説講座

11/20 CPD4単位(予定)

それぞれの立場で、何が本当にトイレで困っているのか、そして今、性の多様性に関して、 どんな配慮が必要なのか、各分野のトイレの スペシャリストに解説してもらいます。

日時 11/20(月) 13:00~17:10 会場 TOTOテクニカルセンター大阪 (大阪市中央区久太郎町3-6-8 JRE御堂筋ダイワビル2F 地下鉄御堂筋線 本町駅下車 12番出口 徒歩4分)

定員 30名(申込先着順)

受講料 建築士会会員4,000円 後援団体会員5,000円 一般6,000円

建築士の会「東大阪」開催 わくわく探検(駅前シリーズ)第20弾 前方後円墳を体感

-八尾東部山麓の古墳をめぐる-<sub>近鉄信貴線編</sub>

11/25 CPD4単位(予定)

建築士の会「東大阪」では、秋のわくわく探 棒(駅前シリーズ)を開催します。

今回は近鉄信貴線服部川駅を出発して八尾 東部山麓の古墳をめぐり、八尾市立歴史民 俗資料館から心合寺山古墳までの約4.5km の行程です。八尾市の歴史に触れ中河内地 方に現存する最大級の心合寺山古墳を体感 しませんか。

恒例の賞品が当たるクイズもご用意。皆様の ご参加をお待ちしております。

日時 11/25(土) 9:00~

集合 近鉄信貴線線服部川駅改札

解散 心合寺山古墳

(八尾市しおんじやま古墳学習館)

募集 30名(申込先着順)

参加費 会員・一般1,500円 学生1,000円 (観覧料含む)

申込 大阪府建築士会HPより ※参加証は実施1週間前に発行します。 Informationの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

近畿建築士会協議会まちづくり部会 令和5年度第5回近畿まちづくりセミナー 〜地域振興 多様な活動主体に学 ぶまちづくり〜

11/25 CPD4単位(予定)

平成30年度から開催している近畿まちづく りセミナーは今回で5回目の開催となりま す。今回は奈良県で開催します。それぞれの まちづくり活動について、横断的に取り組む 事例を紹介し、登壇者間の意見交換や参加 者相互の討議を介して、今後の活動の活性 化につなげたいと思います。

日時 11/25(土) 13:00~17:00

会場 町家物語館(旧川本家住宅)及び周 辺城下町(奈良県大和郡山市市洞泉 寺町10)

参加費 会員2,000円 一般3,000円 定員 40名(申込先着順)

#### 地域まちづくり委員会 建築士の会「大阪市北地域」「北摂」共催 愛知県の植物園と庭園を巡るバ スツアー

11/25~26 CPD7単位(予定)

紅葉の深まる11月の末、愛知県の植物園と 庭園を巡るツアーに参加されませんか。初日 は昭和50年瀧光夫設計の愛知県緑化セン ターを見学します。ボランティアガイドさんに 樹木の解説もしていただきます。また翌日は 名古屋市内の吉村元男設計の白鳥庭園と昭 和11年竣工の重要文化財の温室のある東山 動植物園を見学します。皆様お誘いの上ご 参加ください。

日時 11/25(土)8:30~11/26(日)18:30 集合場所 JR大阪駅周辺

参加費(予定)

会員30,000円 一般32,000円 バス料金、宿泊費、保険含む、夕食および 朝食付。

宿泊はビジネスホテルシングルルーム予定 注1)参加人数により参加費は多少変更あります。 注2)参加者には11月初旬に事務局より参加証を 発送予定です。

定員 30名~45名(申込先着順) 最小催行人数 30名

申込 https://forms.gle/wuW9Z4gnKKF QCddW6

地域まちづくり委員会(防災分科会・みしま野・北河内)

~アルミサッシの組立ラインを見てみたい~ 関西不二サッシ(株)工場見学会 12/8 CPD3単位(予定)

日頃より、何気なく取り扱っているサッシ。精巧に作られてくるサッシは、実は、たくさんの「工程」を積み重ねられ、たくさんの「ヒト」の目でたくさんの「チェック」を受けることで完成します。そんな、機械とヒトのものづくりの融合をぜひこの機会に皆様に見て頂ければ幸いです。また、最新の商品の説明や、実際に組立体験などのコーナーなど盛りだくさんの企画と

なっていますので、ぜひご参加ください。

日時 12/8(金) 13:30~16:30

会場 関西不二サッシ(株)

(高槻市下田部町2-55-1)

定員 25名(申込先着順)

受講料 建築士会会員500円

一般1,000円 学生無料 申込 大阪府建築士会HPより

#### 第3弾 これを見ずして村野藤吾を 語るなかれ

12/23 CPD2単位(予定)

2018年に開催した村野藤吾建築をめぐる第 3弾企画は、関西大学校内を散策します。 関西大学環境都市工学部建築学科准教授 橋寺知子先生の案内により村野建築を堪能 していただきます。

日時 12/23(土) 14:00~16:00

工程 関西大学校内

案内人 関西大学環境都市工学部建築学科 准教授 橋寺知子氏

参加費 会員1,000円 一般1,500円 定員 限定30名(申込先着順) 申込 大阪府建築十会HPより

#### 第18回国際企画海外研修旅行

# 「ヒューデックの足跡を巡る〜上海の作品群を見て回ろう グルメも芸術も盛り沢山」

2024/2/22~26

2019年に交流協定調印した後コロナで行けなかった上海を訪れ、上海市建筑学会との交流をします。またヒューデックの作品等を視察します。

日程 2024/2/22(木)~26(月)

行先 上海市各所

定員 30名 ※最低催行人員10名

参加費 217,000円 (燃油サーチャージ・空港 諸税等別途負担あり)

締切 11/30(木)

CPD 申請予定

#### 令和5年建築関係団体合同忘年 懇親会

12/14

新型コロナウイルスによる感染拡大防止の ため、3年間開催できなかった恒例の忘年懇 親会を開催することとなりました。多数のご 参加お待ちしております。

共催 日本建築協会(当番会)・大阪府建築 士会・大阪府建築士事務所協会・日 本建築家協会近畿支部

日時 12/14(木) 18:00~20:00

会場 ザ・ガーデンオリエンタル・大阪

会費 10,000円

定員 200名

申込締切日 11/17(金)

※会費を添えて本会事務局までお申込下 さい。11/24(金)までに欠席のご連絡が ない場合は会費をご負担願います。

#### 令和5年度在阪建築15団体合同 新年交礼会

1/4

毎年恒例の在阪建築15団体による合同の 新年交礼会を開催いたします。

日時 1/4(木) 15:00~16:00

会場 シェラトン都ホテル大阪4階「浪速の間」 会費 3,000円

申込締切日 12/5(火)

その他のお知らせ

(一計) 大阪府建築十事務所協会主催

児童画展としては今年で40年目。住まいと

まちづくりのありかたについて、府・市民に

興味を持っていただき、小学生、幼稚園児の

関心を高めるとともに、併せて建築士事務

所についての認識を深めていただくことを目

会場 梅田スカイビル タワーウエスト22階

児童画展、子度向けイベント(建築工

日時 11/11(土) 9:00~17:00

作、防災工作)等

的として実施いたします。

なにわ建築フェスタ2023

※会費を添えて本会事務局までお申込ください。12/5(火)までにご欠席のご連絡がない場合は会費をご負担願います。

までの業務棟で得られた経験や知見について請演・話題提供していただきます。また、 土木分野のトラブル事例や新技術への挑戦 事例をテーマにグループ討論も行います。

日時 11/16(木) 14:00~18:30

場所 ドーンセンター大会議室3+Zoomミー ティング

定員 会場50名+Zoom100名

参加料 会員2,200円 非会員3,300円 学生会員 無料

申込 (公社)地盤工学会関西支部

Tel.06-6946-0393

Fax.06-6946-0383

mail: office@jgskb.jp

泉大津市文化祭実行委員会・大阪府登録文 化財所有者の会・大阪府教育庁共催 『令和5年度 歴史を知り、文化にふれ、 まちを楽しむ 浜街道で和菓子作り』 11/25

大阪府泉大津市浜街道の南溟寺にて和菓子 作りのワークショップを行います。浜街道には 江戸時代中期以降の町家建築が多数残され、 泉大津市の貴重な文化資産になっています。 日時 11/25(土) 午前の部10:30~12:00 午後の部13:30~15:00

会場 南溟寺 泉大津市神明町6-15 南海本線泉大津駅より徒歩8分

参加費 1,500円

講師 出口勝正氏 国登録無形文化財保持団体 所属の優秀和菓子職

定員 各回20名(申込先着順)

申込 カルテット・オンライン https://www.quartet-online.

https://www.quartet-online.
net/ticket/otoubun20231125
間合せ 大阪府登録文化財所有者の会

事務局info@osaka-tobunkai.org 詳細は『大阪文化財ナビ』に掲載

https://osaka-bunkazainavi.org/

(一社) 大阪府建築士事務所協会主管会 「マロエニBIMコンペOSAKA2023」 11/11

(一社)日本建築士事務所協会連合会主催

毎年多くの方にご参加いただいているマロ ニエBIMコンペを今年も開催いたします。皆 様のご参加をお待ちしております。

目的 BIMの可能性の理解を深め普及促進 を図る

日程 2次審査(公開審査)11/11(土) 会場 梅田スカイビル22階

参加対象範囲 建築およびBIMを学ぶ学生、 建築士事務所に所属する者

テーマ 水都OSAKA"中之島"を考える 参加者負担金 なし 申請者連絡先

(一社) 大阪府建築士事務所協会 Tel.06-6946-7065 Fax.06-6946-0004

(公社) 地盤工学会関西支部主催 地盤工学会関西支部 第14回若手 セミナー

11/16

シニア世代土木技術者のボランティア組織であるCVV (Civil Veterans&Volunteers)で活動されている2名の方をお招きし、これ

# 本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか?

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。ぜひ本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか。なお、掲載作品は本会が表彰する「建築人賞」の候補となります。掲載ご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

- ●掲載記事 1頁カラー、写真4点程度 (詳細は本誌Galleryページ参照)
- ●掲載費用 100.000円

※1 初回割引80,000円(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

※2 若手初回割引50,000円(40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方)

●詳細·申込 事務局担当:母倉 e-mail:info@aba-osakafu.or.jp TEL:06-6947-1961

# Close-up Osaka

# 江戸時代の鉄炮鍛冶屋敷 令和6年3月に開館



堺市 歴史遺産活用部 文化財課 主幹 小林初惠

鉄炮鍛冶屋敷 (堺市立町家歴史館井上関 右衛門家住宅) は堺市の北西部、堺区北旅 籠町西一丁に所在する江戸時代にさかのぼ る町家建築です。この一帯は戦災を免れた 地域であり、江戸時代から戦前に至る木造 住宅が建ち並ぶ一画でもあります。中でも 鉄炮鍛冶屋敷は、紀州街道西側の南北主 要筋である中浜筋に東面して立地し、その 外観は歴史的な町並みを構成する重要な 景観的要素ともなっています。

敷地は、東側の中浜筋から西側の浜六間筋までを一区画とする広大なものです。敷地内には、主屋に隣接して座敷棟、敷地西側に、道具蔵、俵倉、附属棟等が建ち並び、江戸時代の鉄炮鍛冶の屋敷構えをよく伝えています。

昭和35年(1960)に刊行された「大阪府の 民家」調査報告書には、本市内では、山口 家住宅(国重要文化財 昭和41年指定)、 髙林家住宅(国重要文化財 昭和44年指 定)と共に掲載され、江戸時代の建物とし て貴重であると記されているものの、国の 指定には至らず、平成16年(2004)に入り、 ようやく堺市指定有形文化財に主屋が指 定されることになりました。江戸時代の鉄 炮鍛冶の生産現場と共に住宅が残されて いる全国唯一の建物であり、歴史的価値が 極めて高いものです。

平成27年(2015)からは、関西大学と本市との間で歴史資料調査を実施し、2万点を超える古文書が確認され、日本の鉄炮生産の歴史を書き換える大きな発見となりました。また、資料の中に含まれる屋敷絵図

等からも屋敷地や建物の改造過程等が判明したため、平成30年(2018)には、敷地内に存する道具蔵、俵倉、附属棟、塀及び土地についても、さらに堺市指定有形文化財に指定することとなりました。

その後、貴重な文化財を後世に引き継ぎ 保存活用してほしいとの所有者の意向のも と、同年3月に、主屋と座敷棟についてご寄 贈いただきました。

本市では、文化財建造物の保存と共に、建物全体を活かした「鉄炮鍛冶屋敷」として公開活用することを目指し、整備事業を決定。平成30年に設計業務に着手し、令和2年(2020)からは保存修理工事を開始。鉄炮の銃身等を製造していた「鍛冶場」については、残された絵図面等を参考に新築を行いました。

現在は展示工事等を実施中であり、令和6年(2024)3月3日(日)には堺の地で古墳の築造から包丁、自転車まで引き継がれた鉄のものづくりの技術をつなぐ「本物のものづくり空間」として開館する予定です。 今秋からは開館に向けて、様々な企画等が

今秋からは開館に向けて、様々な企画等が 目白押しとなっています。 10月2日(月) から12月30日(土) まで 「〜鉄のものづくりの歴史をつなぐ〜鉄炮 鍛冶屋敷応援プロジェクト」としてクラウ

ドファンディングを実施。 様々な特典も用意しており、ぜひともこの機会に鉄 炮鍛冶屋敷への応援をい ただければ幸いです。



また12月2日(土)には、本市と関西大学との地域連携事業講演会「いま、よみがえる 鉄炮鍛冶屋敷 | を開催します。

2万点を超える井上関右衛門家資料の調査研究に携わった専門家による基調講演と、 関西大学なにわ大阪研究センターの基幹研究と連動したデジタルコンテンツ化事業 に関する報告、そして文化財課職員による

建造物の保存修理工事や 発掘調査等に関する報告 を通じて、これまで紡がれ てきた「鉄炮鍛冶屋敷」の 歴史を発信いたします。



堺ならではの「本物のものづくり空間 鉄 炮鍛冶屋敷」で、皆様のご来館を心よりお 待ちしております。



鍛冶場 (完成予想パース)



保存修理工事が完了した鉄炮鍛冶屋敷の内部



昭和30年代の鉄炮鍛冶屋敷(「大阪府の民家」より)



仕上場(完成予想パース)



保存修理工事が完了した鉄炮鍛冶屋敷の外観

# Close-up Osaka

# "トカイナカ"和泉市の新庁舎



#### 和泉市 都市デザイン部 建築住宅室 総括主査 辻村雄一朗

#### ◆和泉市の概要

和泉市は大阪府南部に位置し、人口約183,000人(令和5年7月31日時点)の中都市です。電車で難波まで30分、関西空港まで20分とアクセスに優れ、利便性の高いベッドタウンとして発展してきました。

近年には、大型商業施設も建設され、都会でありながら、昔ながらの里山風景も残っている「トカイナカ(都会+田舎)」として魅力的なまちづくりに取り組んでいます。

#### ◆庁舎建設の経緯

昭和33年以降に建設された旧庁舎は、耐震性や老朽化など建物の安全性に加え、分散化、狭隘化、交通アクセス渋滞などの様々な課題を抱えていました。これらの課題を解決するため、平成24年度に庁舎建替えの検討をスタートし、市民の皆様や、市議会のご意見やご提案を反映しながら、令和元年12月に着工し、令和5年1月にグランドオープンを迎えました。

~市民が集う公園のような新庁舎~



# ◆新庁舎のPick Up ポイント



敷地中央のイズミ広場を取り囲むように配置された庁舎は、市民の憩いの場となる公園をイメージしています。

#### 【外観デザイン】



庇やバルコニーの水平ラインで外壁面を分割することで、端正で圧迫感の少ない外観としています。また夜間の照明は、主な動線に重点を置いた照明計画とすることで、周辺環境との調和やシンボリックな夜景を演出しています。



【内観デザイン】 (市民窓口(1F))



来庁者の利用が多い窓口部署を1階と2階に配置し、広場の緑生が望める待合スペースは、開放感とゆとりのある落ち着いた空間を演出しています。(天井の木材ルーバーは、和泉市産木材「いずもく」を活用)

#### (議場(6F))



新しく整備した議場は「文化・芸術」をテーマに、躍動感や日本的な和のデザインを感じられる空間をイメージしています。

#### 【ユニバーサルデザイン】

キッズスペース、授乳室、バリアフリートイレ (各階)を整備したほか、プライバシーに配慮した個別相談室の設置や窓口カウンターの高さ設定を複数用意するなど、来庁される全ての方々に安全で利用しやすい庁舎を整備しています。



授乳室

バリアフリー トイレ **■** 

#### ◆建物概要

敷地面積 13,616.59㎡

延床面積 11,991.69㎡ (庁舎本館)

8.763.10㎡ (付属棟計)

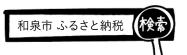
階 数 地上7階(庁舎本館)

構 造 免震構造

S造一部CFT造(庁舎本館)

#### ◆今後のまちづくり

和泉市では、施設一体型義務教育学校(小中一貫校)の建設、市営住宅の集約建替え、公立認定こども園の整備など、多くの大規模事業を予定しており、更なる市政の発展と市民生活の向上を目指して、まちづくりに取り組んでいきます。



# 記 憶 0 建 築

# 迎賓館赤坂離宮 迎賓館改修に見る村野藤吾の建築精 一九〇九年竣工/一九七四年改修

文・写真 = 松隈 洋 [神奈川大学建築学部教授]

二〇二三年五月二五日、東京四谷の

ことを記念する催しだった。 資料などを展示する「東衛舎資料館 創建時から現在の迎賓館までの関連 敷地内にある東衛舎が、赤坂離宮の これは、その直前の五月十五日に、 の小講演を依頼されたからである。 換~」と題するテーマで、一般向け 迎賓館赤坂離宮に赴く機会があった。 いて〜旧赤坂離宮から迎賓館への転 「リノベーションの名手村野藤吾につ (仮称)」として、プレオープンした

迎賓館改修に関係する村野藤吾の関 京都工芸繊維大学美術工芸資料館に、 別番組「国宝へようこそ」シリーズ ディレクターから、8KによるBS特 実は、ここに至るまでには長い前史 初めて国宝に指定された。だが、迎賓 受けた。同館は、創建一〇〇年の二〇 係資料が残っていないか、と問合せを で迎賓館赤坂離宮を取り上げるので、 NHKエデュケーショナルの旧知の があった。二〇一九年六月、 ○九年に、明治以降の近代建築として 突然に、

前庭から見る迎賓館全景

敷地北側から見る迎賓館正門



要性を、竹内は把握していたに違いな 図面には、村野の直筆と思われる多数 館については、それまでの村野展で 寧に貼られていたからである。 たのだ。おそらく、これらの図面の重 のスケッチやメモが描き込まれてい 館の職員と図面ファイルを調べてみ 誰よりも村野資料に詳しかった元館 取り上げたことはなく、残念ながら、 い。その一枚一枚は、厚紙の台紙に丁 も見つかった。しかも、家具の青焼き 金物類などの原寸図が一〇〇点以上 賓の部屋の浴室回りや家具の詳細図、 新築の守衛所などの図面の他に、国 たところ、内装の改修や庭園の計画、 九月に他界していた。そのため、資料 長の竹内次男名誉教授は、二〇一六年

さて、村野藤吾(一八九一~一九八 他の事例と共に、迎賓館改修を紹介 ラによる資料館での図面撮影を経て、 そして、八月十二日の大型8Kカメ 制作は、駆け足で進められていく。 内文生氏の協力も得ながら、番組の ガイドを務めていた鹿島出版会の坪 することができたのである。 ベーションの作法」というテーマで、 設計図展では、「村野藤吾によるリノ 送される。また、この成果を踏まえて、 こそ―迎賓館赤坂離宮」が無事に放 二〇一九年十月二七日、「国宝へよう こうして、迎賓館のボランティア・ 二〇二一年の第十五回村野藤吾建築

こうして、村野が、同時代の建築家と けていた村野だが、戦後は、次世代の られてきたのだとさえ思える。という して正当な評価を得ることができた たことも影響していたに違いない。 ビルや百貨店など民間の建築が多く、 建築に対する評価は立ち遅れたから る、機能的で合理的なモダニズム建築 前川國男や坂倉準三、丹下健三らによ みは、この迎賓館の改修へ向けて重ね かもしれないが、村野のそれまでの歩 仕事となるものだった。らがった見方 のは、一九六三年に竣工し、日本建築 公共建築を手がけることの少なかっ だ。そこには、大阪を拠点にオフィス の潮流が主流となっていく中で、彼の のも、戦前から精力的な設計活動を続

晩年の円熟期に、僥倖とも言える設計 期間に及ぶ。それは、すなわち、村野 依頼を受けて、精魂を傾けた集大成の にとって、七六歳から八三歳までの最 日の落成式までの約六年半という長 る設計依頼から、一九七四年四月二三 四年)が、この仕事に携わったのは、 一九六七年九月二三日の建設省によ 五ページにわたる長文で掲載された。 歴史的必然とさえ思えてくる。一方、 その行間から、この仕事に対する村野 修記録』に、「改装設計の構想につい にまとめられた『迎賓館赤坂離宮改 のだと思う。そのことを裏づけるか 対する自信を得たからこそ、満を持 験と、日生劇場で自らの設計手法に 修業時代に始まる様式建築の設計経 村野にとっても、遠く渡辺節事務所の 事であり、時代が村野を求めたのも、 テールの処理を含む的確なデザイン・ 返れば、この改修は、様式建築に対 が依頼されたのである。今から振り 年、文化勲章受章直後の七六歳の村野 待たねばならない。そして、一九六七 学会賞を受賞する日生劇場の実現を て」と題する村野藤吾の文章が、十 のように、竣工後の一九七七年三月 して、全力で取り組むことができた センスを必須とする極めて難しい仕 する造詣の深さと、素材の選定やディ に、赤坂離宮の改修設計という大仕事

> 容に、敬意を表しつつ、次のような 率直な感想が綴られていたのである。 しかも、片山東熊(一八五四~一九 の使命感と重責の自覚が読み取れる。 一七年)の設計による赤坂離宮の威

あった。」 うかと自分の技量を疑ったくらいで 宮に入った時の第一印象であった。 味悪い感じさえした。これが赤坂離 すると、荒涼として一人歩きは薄気 (中略)改修の仕事が私にできるだろ 構内に入り、ついで建物の内部に接

だのだ。 戻し、国賓の宿泊する寝室まわりに、 る」として、明治国家の威厳を表わ を与えること」などに、精力を注い を軽減して「室内の明るさ」を取り 塗り替えていく。また、「窓の重厚さ」 す黒色の鉄柵を大胆に白色と金色に の黒と金を白と金に変えることであ のかつもっとも困難な仕事は、鉄柵 それでも、村野は、ひるむことなく、 「人間的なホームライクな空間や属性 迎賓館にイメージチェンジする最大

神を伝えられたら、と思う。 生が偲ばれる。いつの日か、これら が読み取れる。その意味で、 るのか、を追い求めた村野の心遣い ケッチである。その描線の一つひと き込んだ修正を指示する直筆のス そんな村野の設計意図を明快に示す て、そこに込められた村野の建築精 の図面類が東衛舎資料館で公開され 村野資料の収蔵に尽力された竹内先 体で寛げるようなものへと転換でき つに、厳格さ漂う堅苦しい椅子やソ のが、創建時の家具類の復元図に描 ファなどを、どうしたら国賓が自然

改めて



# 【oiya (オイヤ)】

野水瓦産業株式会社 御原特殊瓦株式会社 株式会社タツミ

https://www.oiya.jp/

取材:橋本頼幸/建築情報部門委員



# 族路瓦イズム



野水瓦産業(株)・御原特殊瓦(株)・(株) タツミの淡路島窯元 3 社のプロジェクトが 立ち上がった。土と共生するために。

淡路島出身の著名プロダクトデザイナーである倉本仁氏とコラボレートして『oiya』プロジェクトがスタートした。

コロナ禍で発表会の開催が難しいなか、昨年夏、東京西麻布のカリモク・コモンズ東京で『oiya』の作品発表会を開催。

土は太古からの記憶を積層している。その 土に新たな形と役割を与えること。それが 『oiya』の目指すところ。

瓦製造技術は約 400 年前に淡路島に伝えられたと言われている。良質な粘土と海上交通、京都・奈良・大阪での瓦需要などの地理的条件が重なり、淡路島は日本三大産地のひとつとして発展してきた。しかし、現代の都市や生活空間には土を感じることは少なくなった。土の素朴さ、力強さ、柔らかさ、土が持つちからを改めて感じてもらいたい。淡路瓦にかかわる人たちはそれを強調する。

屋根材としての瓦の販売量は、最盛期の 1/6 までに激減した。瓦事業にかかわる会社 や人々も最盛期の 1/4 まで減っている。瓦 が現代建築で使われなくなったことに、後継者不足も追い打ちを掛かける。

現代建築において使われるタイルは国内で 製造するところは少ないという。瓦は小ロットから、かつお客さんのニーズに合わせたも のも作れる。タイルでできないことをできる のが瓦の良さ。野水専務はそう強調する。

『oiya』プロジェクトの三社は、それぞれ特徴を持つ。(株)タツミは鬼瓦や飾り瓦などを作る職人「鬼師(鬼瓦職人)」が一つ一つ手作り製作を得意とする。御原特殊瓦(株)は土を知り尽くし、特殊な瓦の成形・焼成を得意とする。野水瓦産業(株)は手仕事から最新技術を駆使した多種多様な瓦を製造する。この三社が集まったからできたプロジェクトである。

語源は、北欧で『島』を意味する「øy」に由来。出来あがった製品そのものだけではなく、島の産土(うぶすな)を意識し、次の時代に残す新しい「もの」づくり。

『oiya』の製品は、外壁材と家具の約 20 種類。野水専務はこれまでいくつか納入実績ができて、徐々に広がってきている実感を感じている。しかし、家具は一つ一つ手作りで大量生産にむかない。海外進出も視野に入れてホームページは英語と日本語の併記している。アジアのみならず、ヨーロッパ、アメリカにも出荷を考えるが、新型コロナの影響で輸送に時間を要する。様々な困難にぶつかりながらも、土の良さを前面に出した商品の開発を続ける。瓦のデザイン性の高さを店舗内装などにも使ってもらいたい。

長年培われた伝統と時代に合わせて挑戦する心意気が新しい化学反応を起こすだろう。

■淡路瓦のお問い合わせ先 淡路瓦工業組合 兵庫県南あわじ市湊 134 Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030 info@a-kawara.jp http://www.a-kawara.jp/



可動式の蚊帳を設置し、虫の防御と通風を両立させ、眺望を確保しています。



各室は内部で繋がらず、リニアに伸びる縁側からのみ出入りします。